



2017年度都市住宅学会関西支部 通常総会・記念フォーラム

日時：2017年4月15日（土）

会場：大阪市立大学 文化交流センター ホール
（大阪駅前第2ビル 6階）

■通常総会 13：00～13：45（受付12：45～）

■記念フォーラム 14：00～17：00（受付13：45～）

都市に住む～私はどこに、どのように住むのか～

都市に住む私たちは、高度経済成長期には一貫して、増大する住宅需要の受け皿を郊外に求めてきた。標準家庭を主対象とする住宅が、都心との距離に相関する地価ファクターに従って供給されてきた。郊外では急速な高齢化と人口減少に悩まされながら、依然として新規の開発が進んでいる。コンパクトシティの実現を目指して立地適正化計画の策定が進められつつあるものの、居住誘導区域の設定については合意形成が難しい。

都心郊外を問わず、様々なタイプの住宅供給が進む一方で、放置される住宅が増加し続けている。人口減少に加えて、家族形態や就労形態の多様化によって住宅および居住地へのニーズが多様化する一方で、ニーズと現実の居住形態との間にギャップが広がり続けている。民間分譲マンションは戸建て住宅に替わる住様式として定着しているが、大規模修繕や建て替え合意等の課題を抱えたまま、都心、郊外、駅前等、立地条件に関わらず増殖を続けている。公営・公社・UR等の公的賃貸住宅は、今もなお大きな役割を持つものの、居住者層は大きく変化している。また少数ではあるが、若年層を中心にオフィス等のコンバージョン住宅や長屋・町家での居住に関心を持つ層も生まれている。急速な高齢化とともに、地域での高齢者の居住支援ニーズも高まっている一方で、子育て支援を求める声も大きい。

これらの課題については個別に検討が進められてはいるが、家族形態や都市構造が急激に変化する中で、住宅政策の根源的課題である「私はどこに、どのように住むのか」について、世代の異なる他分野の方々を交えて、原点に立ち戻って考えることが必要ではないだろうか。

14：00～14：10 主旨説明 三浦 研（京都大学）

14：10～14：50 「私はどこに、どのように住むのか」都市住宅学会関西支部会員の思い
報告者 福本 優（関西大学大学院）

14：50～15：00 休憩

15：00～16：50 パネルディスカッション

森栗 一茂（大阪大学コミュニケーションデザインセンター 教授）

角野 幸博（関西学院大学総合政策学部 教授）

佐藤 浩司（国立民族学博物館 民族社会研究部 准教授）

宮本 匠（兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 講師）

岸上 純子（SPACESPACE一級建築士事務所）

コーディネータ 岡 絵理子（関西大学）

16：50～17：00 総括 三浦 研（京都大学）

◆ 参加費 会員・学生：無料、会員外：1,000円

■懇親会 17：30～ 会場：サントリーバー&ダイニング カーナバル
（大阪マルビル7階 TEL：050-3467-7106）
会費：5,000円程度

■会員の方：別途お送りしている出欠確認票で4月10日（月）までに総会、記念フォーラム、懇親会への出欠をお知らせください。総会に欠席される方は必ず委任状の提出をお願い致します。

■会員外の方：記念フォーラムに参加を希望される方は4月10日（月）までにメールにて事務局までお申し込みください（お名前・ご所属・懇親会への参加・不参加）。当日参加の場合は懇親会には参加できません。

■問い合わせ先：都市住宅学会関西支部事務局
TEL 06-6375-8045 FAX 06-6359-1329
E-mail:gakkai-west@urban-ii.or.jp



大阪市立大学文化交流センター
大阪市北区梅田 1-2-2-600
大阪駅前第2ビル6階